

2022 川越まつり EFT 英語観光ボランティア 実施報告書

NPO 法人英語の通じる街実行委員会

川越まつり事務局

NPO 法人英語の通じる街実行委員会（所在地：埼玉県川越市 理事長 谷島 賢）は、10月15日（土）・16日（日）に開催された2022年川越祭りにおいて、臨時観光案内所に訪れた外国人観光客に対し英語観光ボランティアを行いました。



■実施概要

実施日時：2022年10月15日（土）・16日（日）

実施場所：川越駅臨時観光案内所、本川越駅臨時観光案内所

対応ツール：川越まつりパンフレット英語版、多言語 MAP（英語/中国語/フランス語/ドイツ語）

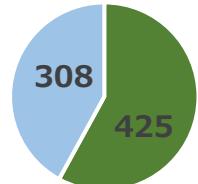
英語観光ボランティア参加人数：延べ 58 名（川越駅 30 名、本川越駅 28 名）

外国人ゲスト案内数：延べ **733** 名（日本在住者 **76%** 観光客 **24%**）

15日 **425** 名（川越駅 346 名、本川越駅 79 名） 2019年 139 名 2019年比 **306%**

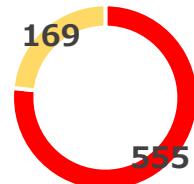
16日 **308** 名（川越駅 216 名、本川越駅 92 名） 2019年 122 名 2019年比 **252%**

海外ゲスト来場者数（日別）



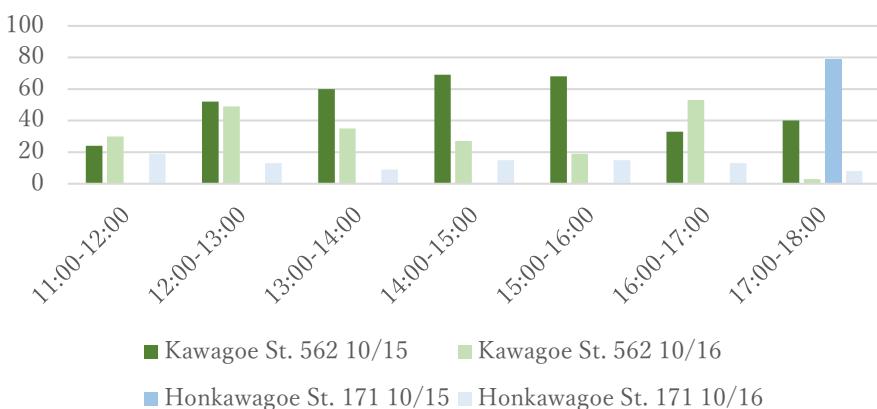
■ 10/15 ■ 10/16

日本在住 or 観光客



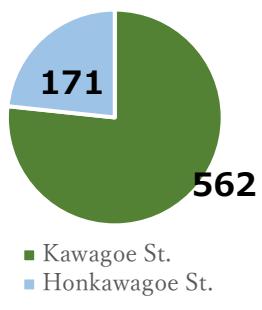
■ 日本在住 ■ 観光客

時間別/駅別 来場者数

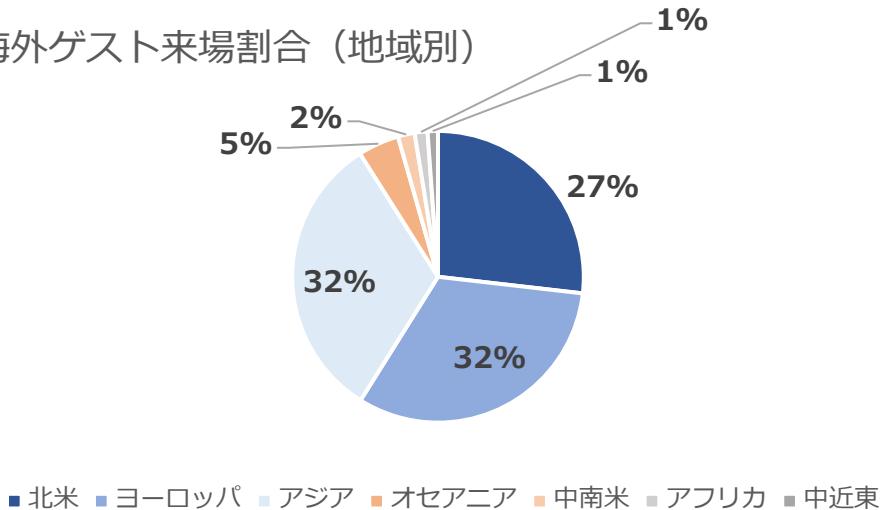


川越駅/本川越駅

案内数



海外ゲスト来場割合 (地域別)



■来場が多かった国

1. アメリカ (159人)
2. フランス (56人)
3. ドイツ (48人)
4. フィリピン (43人)
5. インド (31人)
6. オーストラリア (28人)
7. タイ (24人)
8. 中国 (23人)
9. ベトナム (20人)
9. イギリス (20人)

■海外ゲスト来場国 (全 54 か国)

アメリカ, カナダ, フランス, ドイツ, イギリス, スペイン, オランダ, スウェーデン, スイス, ノルウェー, ウクライナ, アルメニア, デンマーク, ロシア, ベルギー, ブルガリア, イタリア, セルビア, チェコ, ポルトガル, フィンランド, ポーランド, フィリピン, インド, タイ, 中国, ベトナム, 台湾, インドネシア, ネパール, バングラデシュ, マレーシア, ミャンマー, スリランカ, カザフスタン, キルギス, 韓国, 香港, ウズベキスタン, シンガポール, オーストラリア, ニュージーランド, ブラジル, ペルー, メキシコ, コロンビア, コスタリカ, カメルーン, モロッコ, ウガンダ, 南アフリカ, ドバイ, イスラエル, トルコ

■海外ゲストへの主な案内内容

- ・英語版パンフレット、地図の手渡し
- ・一番街への行き方
- ・山車はどこで見ることができるか？宵山の場所はどこ？アプリの登録方法。
- ・川越まつりの見どころは？
- ・狐のお面はどこで買えるのか？
- ・たこ焼きやお好み焼きはどこで買えるか？(屋台村はどこ？)
- ・氷川神社への行き方

■参加ボランティアからの声（抜粋）

○良かった点

- ・初めての川越祭りボランティアを経験するにあたり、自分で予習や下見をしたおかげで祭りに関して詳しくなった。
- ・外国人の方に声をかけて案内するという普段ではできない経験ができた。また外国人の方も温かく接してくれたので、拙い英語でも必死に伝えようと思いました（今年はボランティア数を増員し、外国人への案内機会を増やすため、初めて臨時観光案内所の外での案内を実施）。
- ・人に声をかける勇気が持つことができた。どういうふうに伝えればいいかわかった。

○次回に向けての反省点

- ・「英語で案内しています」のプラカードを下げるなどすればもう少し目立つと思う。何組かの方には怪しい勧誘じゃないかと疑われるような目で見られました。
- ・外回り担当者が、外国人からの質問に一つ答えるたびにカウンターに戻ってきてその内容を表に書き込む方法には無理がある。電車が到着するとドッと観光客に囲まれるので、いちいちカウンターには戻れない。アンケートを取る人と配布物配る人をペアにしないと対応が困難。
- ・駅員の方々と連携したり、活動可能な場所を改めて共有できれば、さらにスムーズに活動できるのではないかと思いました。
- ・日本語版と英語版の区別がつきづらく、英語版パンフレットに「**Kawagoe Festival**」のような表記があると良い。

○改善点

- ・観光課さま、駅関係者との事前調整による混雑状況に応じた案内エリアの調整。当日の情報連携による駅員迂回誘導への協力の実施。
- ・事前勉強会でのお祭りの見どころ、開催場所、タイムスケジュールの説明。当日の案内用パネルの作成。
- ・英語無料案内を伝えるための備品の充実（「Free English Info」の看板、プラカードの臨時案内所への設置。ワッペン等のガイドの装着）

○感想

- ・今回初めてボランティア活動をさせて頂きましたが、とても良い経験になりました。せっかく川越とご縁ができたので、川越を「埼玉県の浅草」並の人気にすることを目指し、今後も機会があればボランティアに積極的に参加できたらと思います。貴重な機会を頂き、ありがとうございました。
- ・久しぶりに英語を使う機会をいただき非常に楽しかったのと自身の英語力がまだまだだと感じ、刺激になりました。ありがとうございました。
- ・これからさらにインバウンドのお客様が増えていくと思うので、川越をさらに知ってもらうため、楽しんでもらうために、これからも活動のお手伝いが出来たらと思います。貴重な機会をありがとうございました。

